

各 位

上場会社名 八千代工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 加藤 正彰
 (コード番号 7298)
 問合せ先責任者 経理部長 北村 哲也
 (TEL 04-2955-1211)

業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年4月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	134,000	250	0	△200	△8.33
今回発表予想(B)	122,398	△1,002	△1,138	△5,161	△214.93
増減額(B-A)	△11,601	△1,252	△1,138	△4,961	
増減率(%)	△8.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	152,161	3,498	3,166	1,966	81.88

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	288,000	4,300	3,800	1,700	70.79
今回発表予想(B)	270,000	2,400	2,000	△3,400	△141.59
増減額(B-A)	△18,000	△1,900	△1,800	△5,100	
増減率(%)	△6.3	△44.2	△47.4	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	309,283	6,050	5,619	391	16.30

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	100,000	△350	50	150	6.25
今回発表予想(B)	87,941	△1,368	380	△3,218	△134.02
増減額(B-A)	△12,058	△1,018	330	△3,368	
増減率(%)	△12.1	—	661.3	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	104,113	769	648	363	15.13

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	212,000	200	2,300	2,000	83.29
今回発表予想(B)	194,000	△1,000	1,300	△2,200	△91.61
増減額(B-A)	△18,000	△1,200	△1,000	△4,200	
増減率(%)	△8.5	—	△43.5	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	212,556	527	231	△3,489	△145.33

修正の理由

1. 平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正

売上高につきましては、国内での需要の減少などによる自動車組立分野における受注台数の減少や軽四輪乗用車「ライフ」の売上構成が減少したこと及び自動車部品分野における国内二輪部品の受注の減少などにより、前回予想を下回ることとなりました。利益につきましては、自動車組立分野の減収に伴う利益の減少及び機種構成差による生産効率の低下並びに国内二輪部品の減収に伴う固定費負担の増大などにより、営業利益、経常利益とも前回予想を下回ることとなりました。

また、四半期純利益につきましては、上記の理由に加え、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の計上などにより前回予想を下回ることとなりました。

2. 平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正

上記1. 第2四半期連結累計期間の修正理由に加え、下期の為替の想定レートを1米ドル95円から85円に変更したことに伴う為替換算上の売上高及び利益の減少などにより、中国での増収及びそれに伴う利益の増加などは見込まれるものの、売上高、利益とも前回予想を下回ることとなりました。

3. 平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正

売上高につきましては、国内での需要の減少などによる自動車組立分野における受注台数の減少や軽四輪乗用車「ライフ」の売上構成が減少したことなどにより、前回予想を下回ることとなりました。利益につきましては、自動車組立分野の減収に伴う利益の減少及び機種構成差による生産効率の低下などにより、営業利益は前回予想を下回ることとなりました。経常利益につきましては、海外子会社からの受取配当金11億8千3百万円の計上を下期より上期へ前倒したことにより、前回予想を上回ることとなりましたが、通期での影響はありません。

また、四半期純利益につきましては、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の計上などにより前回予想を下回ることとなりました。

4. 平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正

上記3. 第2四半期累計期間の修正理由などにより、売上高、利益とも前回予想を下回ることとなりました。

繰延税金資産の取崩しについて

繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、回収を見込めない部分を取崩すこととし、当第2四半期連結会計期間において、39億4千3百万円を法人税等調整額に計上することといたしました。

※ 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

以 上